

令和6年度第2回 釧路方面池田警察署協議会議事概要

- 1 開催日時
令和6年10月21日（月）午後1時30分から午後2時40分までの間
- 2 開催場所
釧路方面池田警察署 会議室
- 3 出席者
(1) 警察署協議会委員 5人（定員7人）
会長 中川 健実
副会長 浦島 美佐
委員 古田 孝千
委員 背古 宗敬
(2) 警察署員 5人
署長 田哲
副署長 馬宗
刑事・生活安全課長 大貴
地域・交通課長 今介
事務局 警務 野香
係長
- 4 警察署協議会会長挨拶
- 5 署長挨拶
- 6 釧路方面公安委員会委員長挨拶
- 7 業務推進概況説明
(1) 刑法犯の認知及び検挙状況
刑事・生活安全課長から管内の刑法犯の認知・検挙状況及び主な検挙事案の概要について説明
(2) 特別法犯の検挙状況
刑事・生活安全課長から特別法犯の検挙等の状況及び主な検挙事案概要について説明
(3) 交通事故抑止対策の推進状況
地域・交通課長から管内の交通事故の発生状況及び主な人身事故の概要について説明
(4) 各種行事及び啓発活動状況
副署長から当署の各種行事及び啓発活動の実施状況について説明
- 8 前回の諮問事項に対する協議・答申
(1) SNS型投資・ロマンス詐欺被害の防止方策について
ア 協議
【委員からの意見等】
普段は、SNSでの怪しい友達申請は、すぐに削除しているが、手口が巧妙化してきており、本物か偽物か判断が難しくなっている。
また、誤って申請を受けてしまうと、すぐに連絡が来て、判断に迷っている隙にだまされてしまいそうになる。
警察において、最新の手口や信頼出来るホームページの見分け方等、タイムリーに情報発信や注意喚起等の広報を行うことで、万が一の際に冷静な判断ができるのではないかと。
【警察の説明】
特殊詐欺等に関する手口や対策については、北海道警察ホームページのほか各関係機関のホームページでも情報発信を行っております。

すので、誤った情報にだまされないためには、普段から信頼のおけるホームページブックマークしておくのが良いと思われます。このいった情報発信が、被害防止につながると考えられますので、効果的な情報発信の方法等について検討させていただきます。

【委員からの意見等】SNS型投資・ロマンス詐欺に限らず、特殊詐欺事件では、国際電話を使用した手口が多く発生していると聞いています。こゝでいう国際電話を使用した手口に対する対策について、何か進められているものはないのでしょうか。もし、あるのであれば、その対策方法や啓発活動の実施状況について説明をお願いします。

【警察の説明】特殊詐欺で最初に用いられるツールは、電話が約6割で、その大半が国際電話番号であることが判明しております。現在、特殊詐欺等の被害防止のため、国際電話の発着信が見込まれない契約者に対し、国際電話利用契約の休止を勧める対策を推進しております。これは、固定電話とひかり電話が対象で、無料で休止手続きをしていただけるものです。多くの方に知っていただけるよう広報活動を推進して参ります。

【委員からの意見等】仕事柄、特殊詐欺などの相談を受けることがあります。多くの方が、警察に相談することを躊躇しています。もっと、気軽に相談をできる場所があれば良いのではないのでしょうか。例えば、警察よりも、町内会や職場関係の会合等の女性部だったり、身近な方に相談をできる方がいれば良いと思います。

【警察の説明】警察の相談への対応については、相談者個々の立場に立った誠実な対応を図っているところではありますが、警察に相談をするというハードルの高さについて改めて認識させていただきました。警察相談ダイヤル「#9110」を気軽に利用して頂くための広報活動のほか、各種企業・団体へ協力依頼を行って幅広く注意喚起を行うなど、効果的な広報活動を推進していきます。

イ 答申

- (ア) 最新の詐欺手口や偽サイトの周知・広報活動の推進
- (イ) 国際電話利用契約の休止を勧める活動の推進
- (ウ) 詐欺被害等で困っている方を警察に繋げて頂くための協力体制の構築

(2) 侵入盗被害の防止方策について

ア 協議

【委員からの意見等】侵入盗被害を防止するためには、在宅時を含め戸締まりをすることが重要である。最近では、闇バイトにより実行犯役を募り、強盗事件などに及ぶ犯罪が発生しており、中には生命身体に被害が及ぶものもあります。このような事件は、いつ、どこで起きてもおかしくありません。防犯意識を高めていただくような広報啓発活動が求められますし、身近なスーパー、金融機関などで目に付く場所（公共トイレ内等）に啓発ポスターを掲示するなど効果的に行っていただきたい。

【委員からの意見等】侵入盗被害の防止方策については、戸締まりだけでなく自身の身を守るためにも、防犯カメラの設置や窓ガラスに防犯フィルムを貼るなどの対策も合わせて情報発信を行っていただきたい。

【警察の説明】侵入盗被害を防止するためには、第1に在宅時も施錠することが重要です。第2に、窓ガラスへの防犯フィルムなどの防犯対策も有効であり、防犯対策を行っていれば、犯人の侵入までに時間を稼ぐことも出来

ますので、身を守る手段の一つと考えられます。

イ 答申

- (ア) 公共施設等で目の付く場所（トイレ内等）に啓発ポスターを掲示し、防犯意識を高める広報啓発の推進
- (イ) 実演型の防犯対策啓発活動の推進

(3) 高齢者の交通事故防止方策について

ア 協議

【委員からの意見等】

運転免許証の返納については、返納後の交通手段など課題も多く、家族からの説得に本人が応じない場合もあります。

運転免許証の返納について本人や家族が悩んでいるとき、気軽に警察へ相談をすることができれば良いと思います。

また、ブレーキペダルの踏み間違いによる交通事故を減らすには、安全運転サポート車の普及啓発活動を推進してはどうでしょうか。

【警察の説明】

警察では、運転に不安のある方やその家族から安全運転相談を受けることができます。

安全運転相談では、運転免許証の返納手続きや必要に応じ臨時の適正検査などの対応を行っております。

また、安全運転サポート車の普及については、高齢者の交通事故防止対策として有効と考えられます。

イ 答申

- (ア) 安全運転相談の利用促進

- (イ) 安全運転サポート車体験試乗会の開催による啓発活動の推進

9 警察署の機能強化に向けた再編整備計画（案）について

10 次回の開催予定

令和7年2月～3月頃